MUNEWS

登録団体 PICK UP

前橋をもっと良くする 熱い想いをお聞きしました!

NPO法人 ハートフルつつじ会

「一人暮らし高齢者の日常生活のちょっとした 手助けになることを!」を目的に、平成26年に 開催された、シニア対象の「コミュニティビジネ スセミナー(前橋市主催)」の受講者が集まり立ち 上げました。

自宅回りの作業依頼に対応し、植木の剪定や草 刈り、門の修理、物置の片付け、電球の取り替え などの困りごとをサポートしています。

現在の課題は、潜在ニーズが多い一方で、理事の 高齢化が進んでいるため、運営面の協力者を広く 募集しています。ゆくゆくは、地域包括支援セン ターや介護事業所などと連携を図れれば、一人



植木の剪定の様子

暮し高齢者の安心が増すとの思いがあります。 「この活動の継続で、地元愛や地域の輪を紡げた ら」と理事の田村策夫さん。地域で支え合う仕組

みが広がっていくと心強いですね。

群馬県地区防災計画研究会

新規登録

「地区防災計画 とは、災害対策基 本法に位置づけら れており、住民が 主体となって作る 実行性と継続性 のある避難計画



です」と話すのは、代表の酒井千富さんです。所属する砂防学会での勉強がきっかけとなり、一昨年の台風19号で犠牲者を出した被害状況を目の当たりにし、危機感を覚えたそうです。

『まえばし市民提案型パートナーシップ事業』に、

地区防災計画に関するセミナー開催や、住民の防 災意識を高め、自助・互助が働く防災意識社会の 創出を目指すことを提案。令和3年度実施事業に 採択されました。

「まずは、異常気象災害に備える地区防災計画を知ってもらうこと。そして住民、企業などと一緒に、地区に合う避難経路を考えるワークショップを行い、ゆくゆくは、行政と市内全体のハザードマップを作成し、犠牲者の出ない地域を実現したい」という酒井さんの言葉から、日常から防災について考える大切さに気づかされました。

防災ワークショップのファシリテーターを募集中!

問合せ先 gunma.chikubouken@gmail.com

群馬中央医療生活協同組合



「誰もが健康で居心地よく暮らせるまちづくりへの挑戦」をビジョンとし、組合員が運営を担い、自分達の暮らしの中の困りごとを持ち寄り、改善する活動をしています。

地域の方々が安心してつながれる場所として、空き家を活用した「たまり場」の運営は、各地域の組合員が主体となり居場所づくりに携わっています。

医療・介護の専門職から楽しく健康づくりを学べる「子ども保健教室」、誰もが医療にアクセスできる無料・低額診療、医療相談会や健康増進企画などを実施しています。また、高齢の一人暮らしの方や暮らしぶりが気になる方の訪問活動など、組合員と職員が一緒に地域での暮らしをサポートしています。



訪問活動の様子

職員の西野竜也さんは「いろんな世代の団体や仲間とつながり、よりよい地域づくりができれば」と話していました。

一般社団法人 前橋デザインコミッション



前橋は今、ある取り組みが脚光を浴びています。官 民協働で前橋中心市街地の活性化を図るために策定 された"前橋市アーバンデザイン"。この取り組みを



事務局の高橋悠香さん(左) 企画局長の日下田伸さん(右)

民間主体で推進しているのが前橋デザインコミッション(MDC)です。

現在は中心市街地の活性化のため馬場川通りの 開発をしており、4月には現地で3Dスキャニン グによる測量と勉強会を行ったそうです。

「市民の方に知っていただき、『自分ごと』として まちづくりに関心を持っていただけたら」と事務 局の高橋悠香さん。前橋の未来をつくる新たな取 り組みに、期待が膨らみます。

活動に賛同していただける方会員さん大募集!

「ホームページ]



①設立の迅速化

設立認証申請書類の縦覧期間が「1月間」から「2週間」に短縮

②個人情報保護の強化

役員名簿・社員名簿について、個人の住所・居 所についての記載の部分を除いて公表・縦覧

③事務負担の軽減

- ・「資産の譲渡等に係る事業の料金、条件その他 その内容に関する事項」の書類は提出不要
- ・「役員報酬規程」「職員給与規程」の内容に変更がない場合には、毎事業年度の提出は不要

詳細は群馬県ホームページへ



(藤井)

ひとこと / 6月号のイメージカラーは紫陽花です! 元気が出るよう、アクセントにピンクを加えてみました。

Check!

NPO法の改正

令和3年6月9日施行